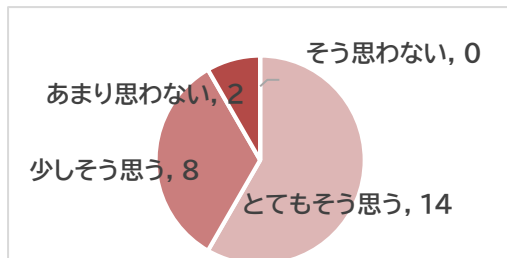


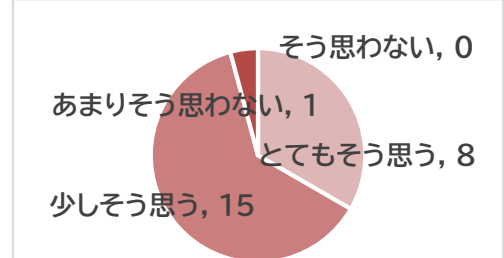


## 出前授業～がんについて学ぼう～

10月28日（金）に国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンターの田代 裕尊医師を招いて『がん』についての学習を行いました。『がん』は現代では、2人に1人がなる病気であり、保健の授業で学習することになっています。事前のアンケート結果は以下の通りです。



がんは自分にとって身近な病気だと思いますか？



がんについて勉強したいと思いますか？

『がん』については自分にとって身近と感じ、学習意欲がある人が多く、意欲的に学習に取り組むことができていたと思います。

### 出前授業でお話いただいた内容

- ・がんとはどのような病気か
- ・がんの罹患や死亡現状
- ・がんの症状について
- ・大腸がんの検査や治療について
- ・がん患者さんの思いや望み
- ・がん患者さんが過ごしやすい社会とは



Q がんは生活習慣が整っていれば絶対ならぬものか？  
A そうは言い切れない。がんは誰でもなり得る。

Q 学生でもがんになることはあるのか？  
A 小児がん（15才以下に）以外のがんになることはほとんどない。

Q がんは病院に行かないとわからないのか？  
A 検査をしないとわからない。

Q がんを治療するときは痛いのか？  
A 痛いものもある。

Q がんの種類は？  
A がんは心臓以外のほとんどの臓器（皮膚や血管なども）にできる。

### みなさんからの質問



Q 外国でもがんという病気はあるのか？  
A 外国でもがんになる方は多い。

Q 妊婦ががんになった場合、お腹の赤ちゃんはどうなるのか？  
A 赤ちゃんへの影響はほとんどなく、無事に出産できることが多い。

### みなさんからの感想

・がんは身近であり、誰でもがんになることがわかった。・がんの患者さんやその家族に会ったら寄り添うように接したい。・生活習慣を正し、お父さんのたばこをやめさせたい。・がんについて知れて良かったし、もっとがんについて学ばなければいけないと思った。・自分はがんにならない、と油断してはいけないと思った。